

# ECALGA

## ECM分野の EDI普及に向けて

ECM委員会

JEITA  
EC CENTER

# 目次

1. 実証実験結果を受けて  
実証実験アンケート結果からの課題と要望
2. ECM標準書の改訂  
(業務モデル編／ビジネス辞書編)
3. ツールの機能拡張
4. 導入ガイドの改訂
5. ECM委員会の今後の活動

# — 目 次 —

## 1. 実証実験結果を受けて

### 実証実験アンケート結果からの課題と要望

# 1. 実証実験アンケートからの課題・要望

実証実験からの要求事項	ECM委員会での対応	標準書	ツール	導入ガイド
XML/CII変換ツールで入出力フォルダとファイル名を指定して、他のツールと連動したい。	フォルダ／ファイル名を指定できるようツール機能を拡充する。		○	
ECALGAの標準上では、添付ファイル数は1つ（アーカイブ含め）ですが、eb-XML上では複数ファイルの添付が可能となっている。	eb-XMLレベルでの機能と、ECALGA技術情報交換での仕様を切分け、導入ガイドに添付ファイルに対する基準を明記する。			○
添付ファイルの最大サイズが各ASPの毎にサービスレベルが異なっていた、また、最大サイズが10MBでは容量が不足する。	ECALGAでは、メッセージと添付ファイルを合算して、50MBに規定し、導入ガイドに基準を明記する。	○		
メッセージを受信して、データを開封して参照しないと相手先やビジネスアクション・情報区分がわからない。	メッセージファイルの命名規約の推奨案作成し、導入ガイドに記載する。 <u>BDのヘッダーに情報区分を設定する様に変更</u>	○	○	○
ビジネスプロセスにより、一つの要件で複数の交換が必要となった場合にBDの使い分けが不明確	ビジネスプロセスのBDの交換におけるBD種と依頼種別の標準を明確にして、導入ガイドに明記する。			○
依頼から回答のBDに変換する機能に加えて、回答から依頼又は通知用BDに変換する機能がほしい。	XMLメッセージ作成支援ツールで作成できるよう機能拡張を行う。		○	○

# — 目 次 —

## 2. ECM標準書の改訂

(業務モデル編／ビジネス辞書編)

# 2. ECM標準書の改訂—BDヘッダ項目の設定変更

ビジネスドキュメントヘッダのビジネスアクションIDに技術情報区分を設定することで、データ部を開封せずに交換する技術情報区分を明確にして、ASP等の一覧画面に表示して貰うことで交換内容を容易に管理できるよう調整する。ヘッダ部への設定はXMLメッセージ作成支援ツールが自動で設定する。

項目No.	項目名	項目定義
	ビジネスドキュメントヘッダ	ビジネスドキュメントの先頭に付与される情報。
18041	BDデータ作成日	BDデータを作成した日付。
18042	BDデータ作成時刻	BDデータを作成した時刻。
	送信者	データの送信者情報を示すクラス
18014	送信者コード	データを送信する送信者の企業名を示すコード。
18015	送信者コード管理組織	送信者コードを管理する団体を示すコード。
	受信者	データの受信者情報を示すクラス
18018	受信者コード	データを受信する受信者の企業名を示すコード。
18019	受信者コード管理組織	受信者コードを管理する団体を示すコード。
	ビジネスドキュメントの識別	ビジネスドキュメントの種類を特定するためのクラス
18035	ビジネスドキュメント標準	本ビジネスドキュメントの標準名を示すコード”JEITA”
18001	ビジネスドキュメントのバージョン	本データのビジネスドキュメントの版数。
18009	ビジネスドキュメントID	ビジネスドキュメントを特定するためにJEITAが付与した管理番号。
	ビジネスサービス条件	データ作成時の適用条件(CBC、BC、BT、BA)やユニーク番号、運用取決め事項を示すクラス
18002	コンプレックスビジネスコラボレーションID	コンプレックスビジネスコラボレーションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。
18003	ビジネスコラボレーションID	ビジネスコラボレーションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。
18005	ビジネスランザクションID	ビジネスランザクションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。
18007	ビジネスアクションID	本データのビジネスアクションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。 <b>部品技術情報交換の場合のみ技術情報区分を設定する。</b>

- 技術情報区分**

  - 01:部品情報
  - 02:技術見積
  - 03:サンプル要求
  - 04:納入仕様書
  - 05:購入仕様書
  - 06:廃止品情報
  - 07:環境情報
  - 08:CADデータ
  - 09:シミュレーションデータ
  - 99:その他

# 目次

## 3. ツールの機能拡張

### 3-1. XMLメッセージ作成支援ツール

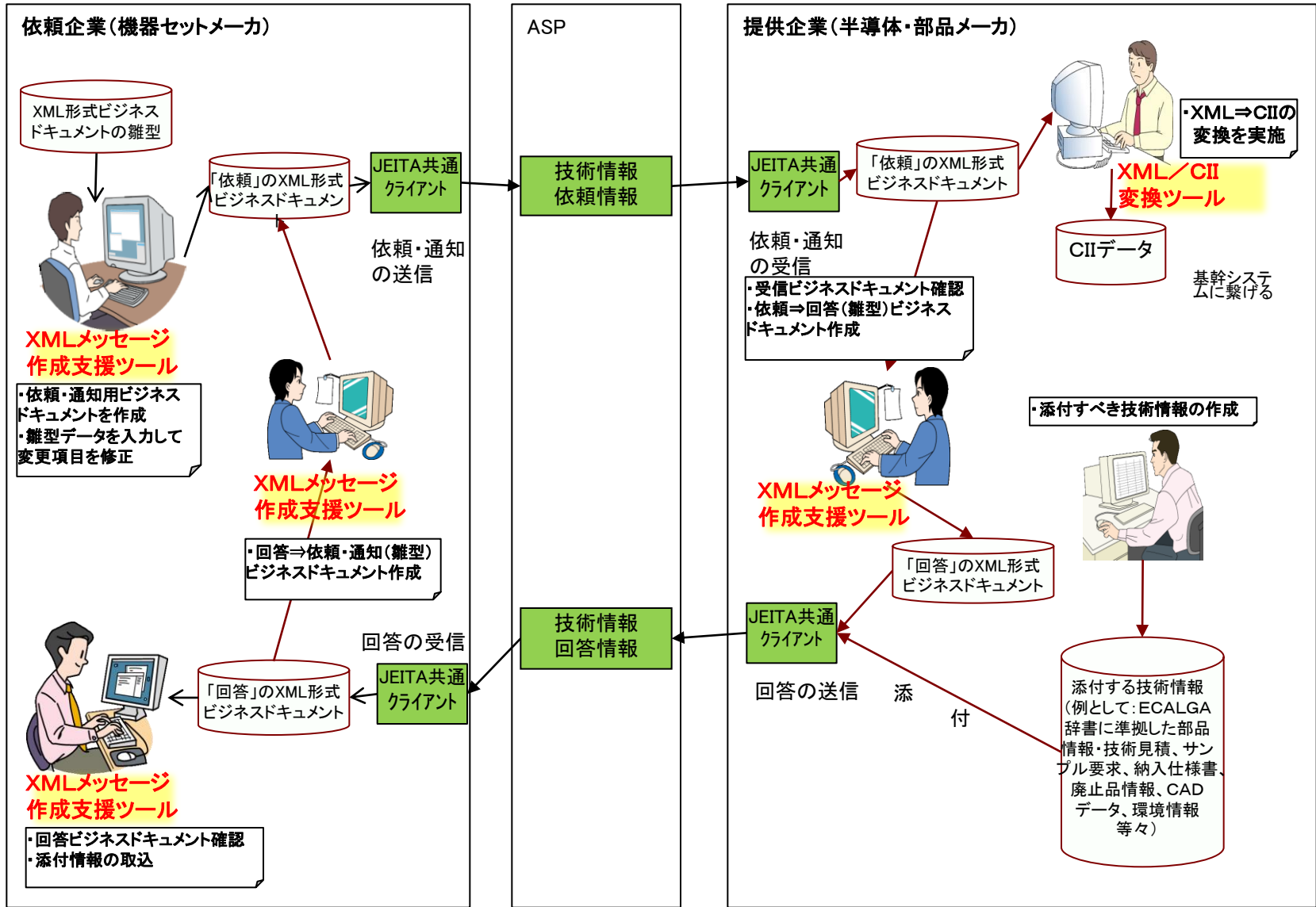
(1) BD編集機能

(2) 回答～依頼・通知メッセージの作成

### 3-2. XML/CII変換ツール

(1) 入出力ファイルのフォルダ指定機能

# 3. ツールの機能拡張 (ツールの位置づけ)





# (1) BD編集機能

BDヘッダーのビジネスアクションIDにBD本体明細部の**技術情報区分**を自動的に設定。

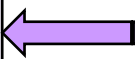
BDヘッダー

項目No.	項目名	項目定義
	ビジネスドキュメントヘッダ	ビジネスドキュメントの先頭に付与される情報。
	送信者	データの送信者情報を示すクラス
18014	送信者コード	データを送信する送信者の企業名を示すコード。
18015	送信者コード管理組織	送信者コードを管理する団体を示すコード。
	受信者	データの受信者情報を示すクラス
18018	受信者コード	データを受信する受信者の企業名を示すコード。
18019	受信者コード管理組織	受信者コードを管理する団体を示すコード。
	ビジネスドキュメントの識別	ビジネスドキュメントの種類を特定するためのクラス
18035	ビジネスドキュメント標準	本ビジネスドキュメントの標準名を示すコード”JEITA”を指定。
18009	ビジネスドキュメントID	ビジネスドキュメントを特定するためにJEITAが付与した管理番号。
18005	ビジネスランザクションID	ビジネスランザクションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。
18007	ビジネスアクションID	本データのビジネスアクションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。 <b>部品技術情報交換の場合のみ技術情報区分を設定する。</b>

BD本体明細部

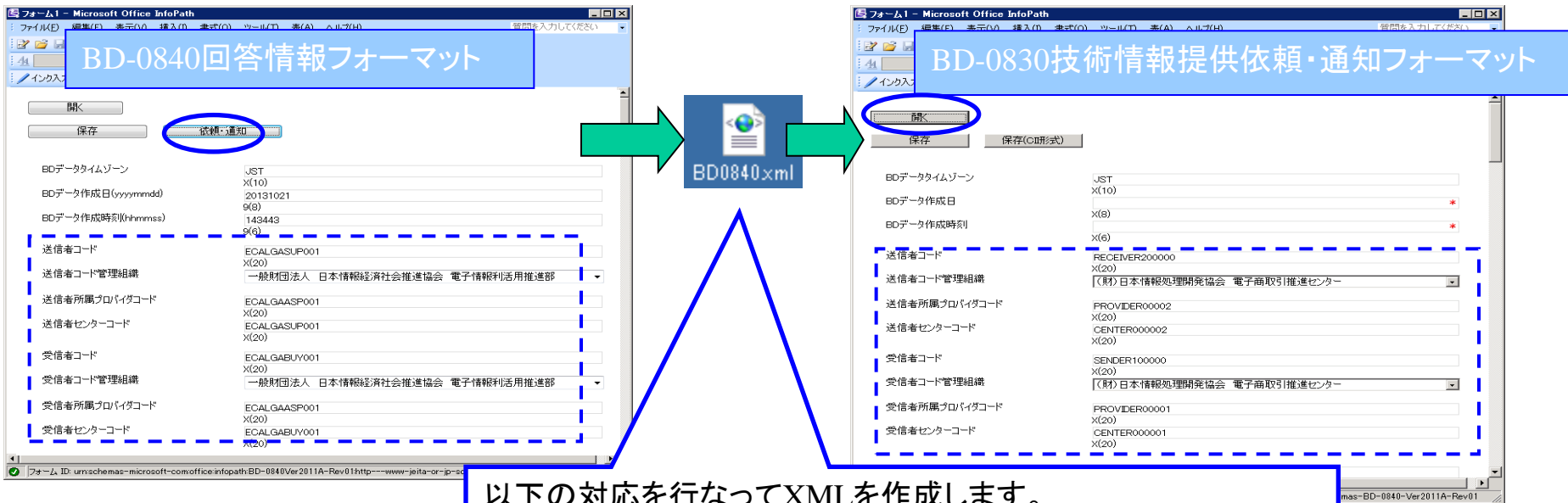
項目No.	項目名	項目定義
00001	データ処理No.	受信者での受信データ番号。
00002	情報区分コード	情報の種類を示す
00009	訂正コード	情報の新規・変更・
	発注者	注文を行う企業
00004	発注者コード	注文を行う企業(6桁)事業所・事業部門等で企業コードにより
18022	発注者コード管理組織	発注者コードを管理
	受注者	注文を受ける企業
00005	受注者コード	注文を受ける企業(6桁)およびその営業所・事業所・事業部門等(6桁)を表すコードで企業コードにより示す。
18027	受注者コード管理組織	受注者コードを管理する団体を示すコード。
	技術情報交換BD情報	技術情報の交換を識別するための情報
20001	技術情報依頼・通知番号	技術情報依頼・通知者の管理番号。企業コード内で1年以内に重複しないユニークな番号を採番すること。
20002	技術情報区分	交換する技術情報の区分。
20003	依頼・通知区分	依頼か通知かの区分。

- 技術情報区分
- 01:部品情報
  - 02:技術見積
  - 03:サンプル要求
  - 04:納入仕様書
  - 05:購入仕様書
  - 06:廃止品情報
  - 07:環境情報
  - 08:CADデータ
  - 09:シミュレーションデータ
  - 99:その他



# (2) 回答～依頼・通知メッセージの作成 1

## 回答→依頼ビジネスドキュメント変換



以下の対応を行なってXMLを作成します。

- 1) XMLのスキーマをBD0840(回答)→BD0830(依頼)に変更
- 2) ヘッダ一部の送信者項目4つと受信者項目4つを入れ替え
- 3) 回答と依頼で同じ定義項目の値を引継ぎ

# (2) 回答～依頼・通知メッセージの作成 2

## 回答→依頼ビジネスドキュメント変換

開く

保存

依頼・通知

BDデータタイムゾーン	JST
BDデータ作成日(yyyyMMdd)	X(10) 20131021
BDデータ作成時刻(hhmmss)	9(8) 143443
送信者コード	9(6) ECALGASUP001
送信者コード管理組織	X(20) 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 電子情報利活用推進部
送信者所属プロバイダコード	ECALGAASP001
送信者センターコード	X(20) ECALGASUP001
受信者コード	X(20) ECALGABUY001
受信者コード管理組織	X(20) 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 電子情報利活用推進部
受信者所属プロバイダコード	ECALGAASP001
受信者センターコード	X(20) ECALGABUY001

## (2) 回答～依頼・通知メッセージの作成 3

### 依頼用BDへ必要項目

発注元担当	<input type="text"/>
	N(40)
発注元担当(漢字)	<input type="text"/>
	X(7)
発注元担当役割名称	<input type="text"/>
	K(14)
発注元担当役割名称(漢字)	<input type="text"/>
	X(40)
発注元担当 e-mailアドレス	<input type="text"/>
	K(80)
	<input type="text"/>
	X(60)
発注者品番	<input type="text" value="ecalga parts abc000"/>
	X(25)
受注者品番	<input type="text"/>
	X(25)
依頼・通知日	<input type="text" value="20131226"/>
	X(8)
回答期限(依頼者)	<input type="text"/>
	X(8)
依頼・通知内容	<input type="text" value="フヒンシヨウホウラテイキョウクダサイ"/>
	X(200)
依頼・通知内容(漢字)	<input type="text" value="発注者品番で指定した部品の情報を提供ください。"/>
	K(400)
添付ファイル有無区分	<input type="text" value="付帯情報を含むファイル無"/>
添付ファイル名	<input type="text"/>
	X(60)

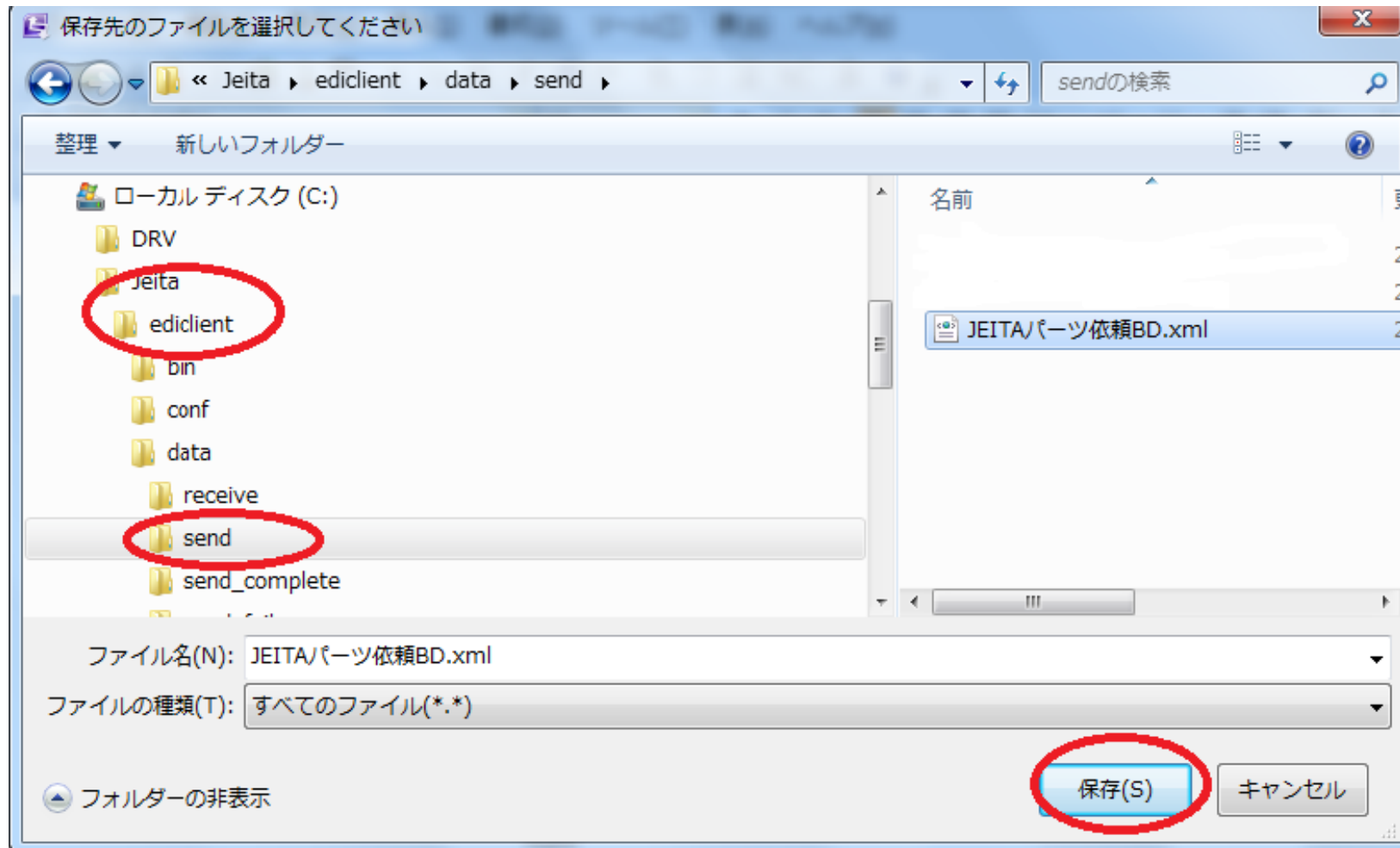
# (2) 回答～依頼・通知メッセージの作成 4

## 回答→依頼・通知ビジネスドキュメント変換

<input type="button" value="閉"/>	
<input type="button" value="保存"/>	
BDデータタイムゾーン	JST X(10)
BDデータ作成日	20121220 X(8)
BDデータ作成時刻	113000 X(6)
送信者コード	ECALGASUP001 X(20)
送信者コード"管理組織"	(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 電子情報利活用推進部
送信者所属プロバイダコード	ECALGAASP001 X(20)
送信者センターコード	ECALGASUP001 X(20)
受信者コード	ECALGABUY001 X(20)
受信者コード"管理組織"	(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 電子情報利活用推進部
受信者所属プロバイダコード	ECALGAASP001 X(20)
受信者センターコード	ECALGABUY001 X(20)

## (2) 回答～依頼・通知メッセージの作成 5

### 依頼ビジネスドキュメント保存

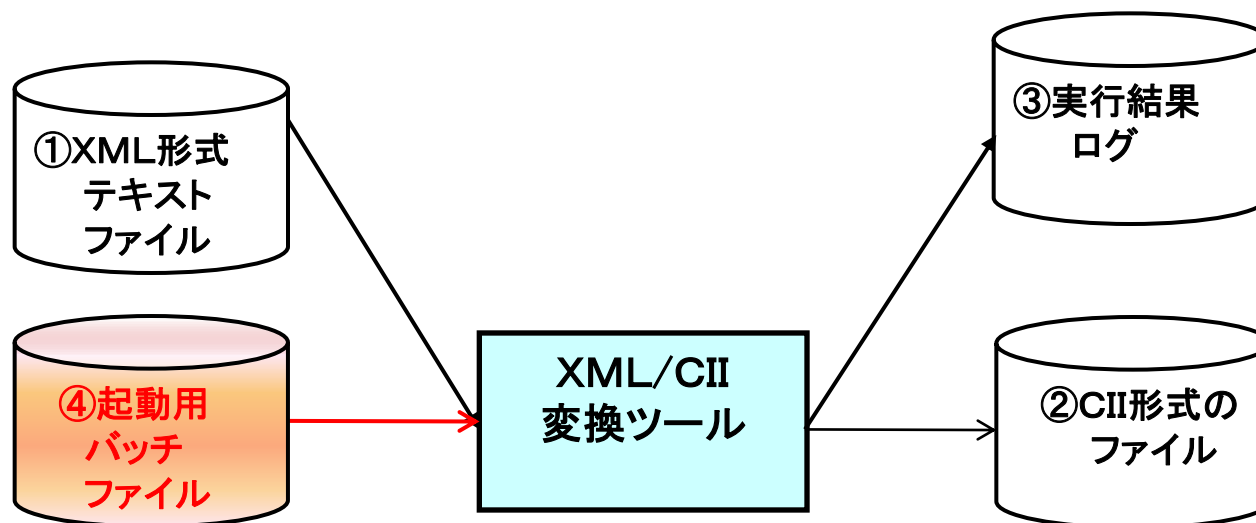


# (3) 入出力ファイルのフォルダ指定機能成 1

XML/CII変換ツールの起動用バッチファイルに入力ファイル・出力ファイルのアドレスを指定することで任意のフォルダに変更が可能。

例) XML形式からCII形式への返還

入力ファイル : XMLメッセージ作成支援ツールの出力フォルダ  
出力ファイル : JEITA共通クライアントの送信フォルダ



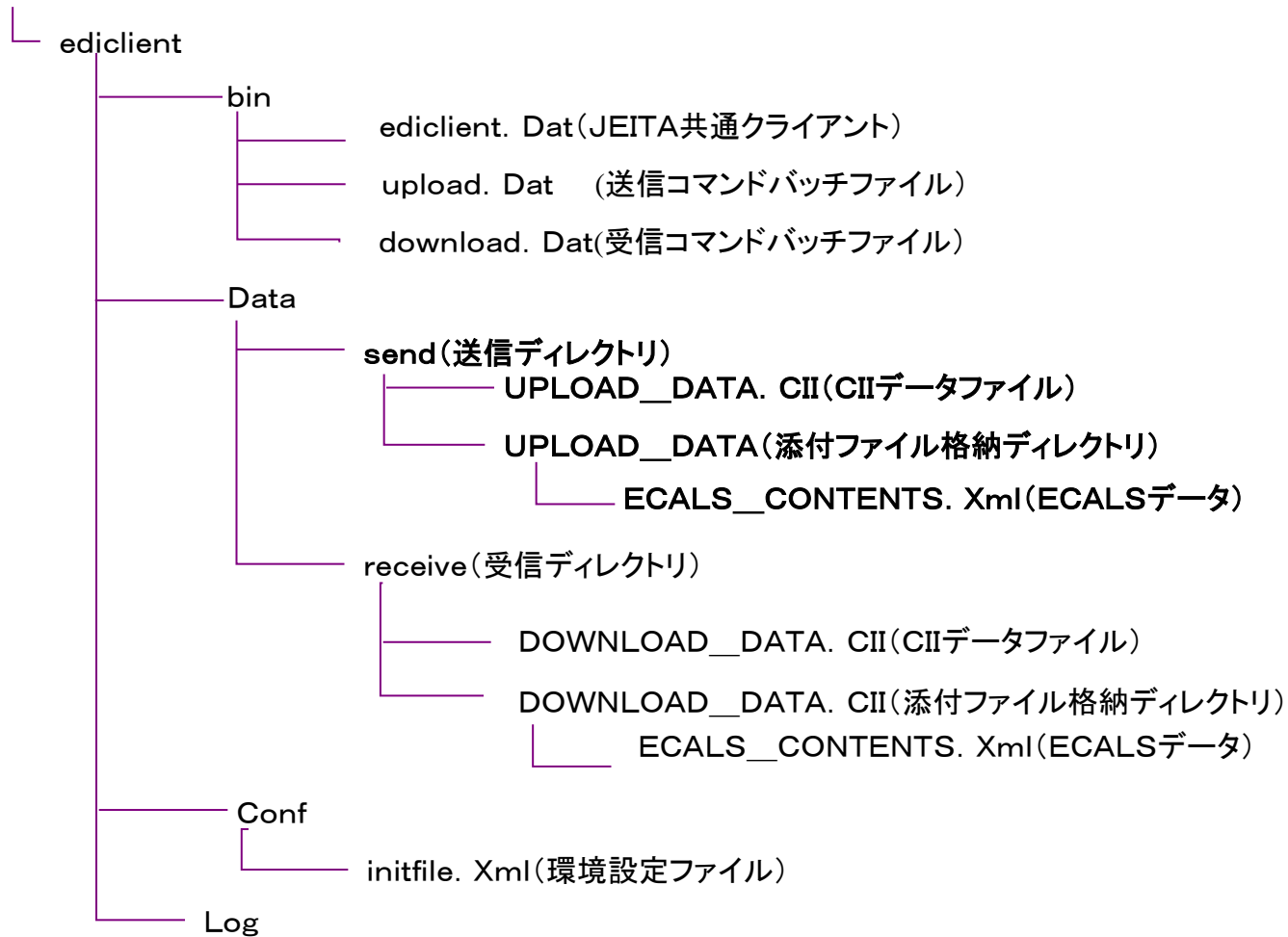
```
set IDTDIR =¥JEITA¥infopath  
set ODTDIR=¥JEITA¥ediclient¥data¥send  
set FILE_CVTIN=%IDTDIR%¥BD0830_01_111111_999999_001-01.xml  
set FILE_XMLOUT=%ODTDIR%¥BD0830_01_111111_999999_001-01.cii
```

←入力ファイルのディレクトリ  
←出力ファイルのディレクトリ  
←入力のファイル名  
←出力のファイル名

# (3) 入出力ファイルのフォルダ指定機能成 2

## JEITA共通クライアント実行環境

C: ¥ JEITA





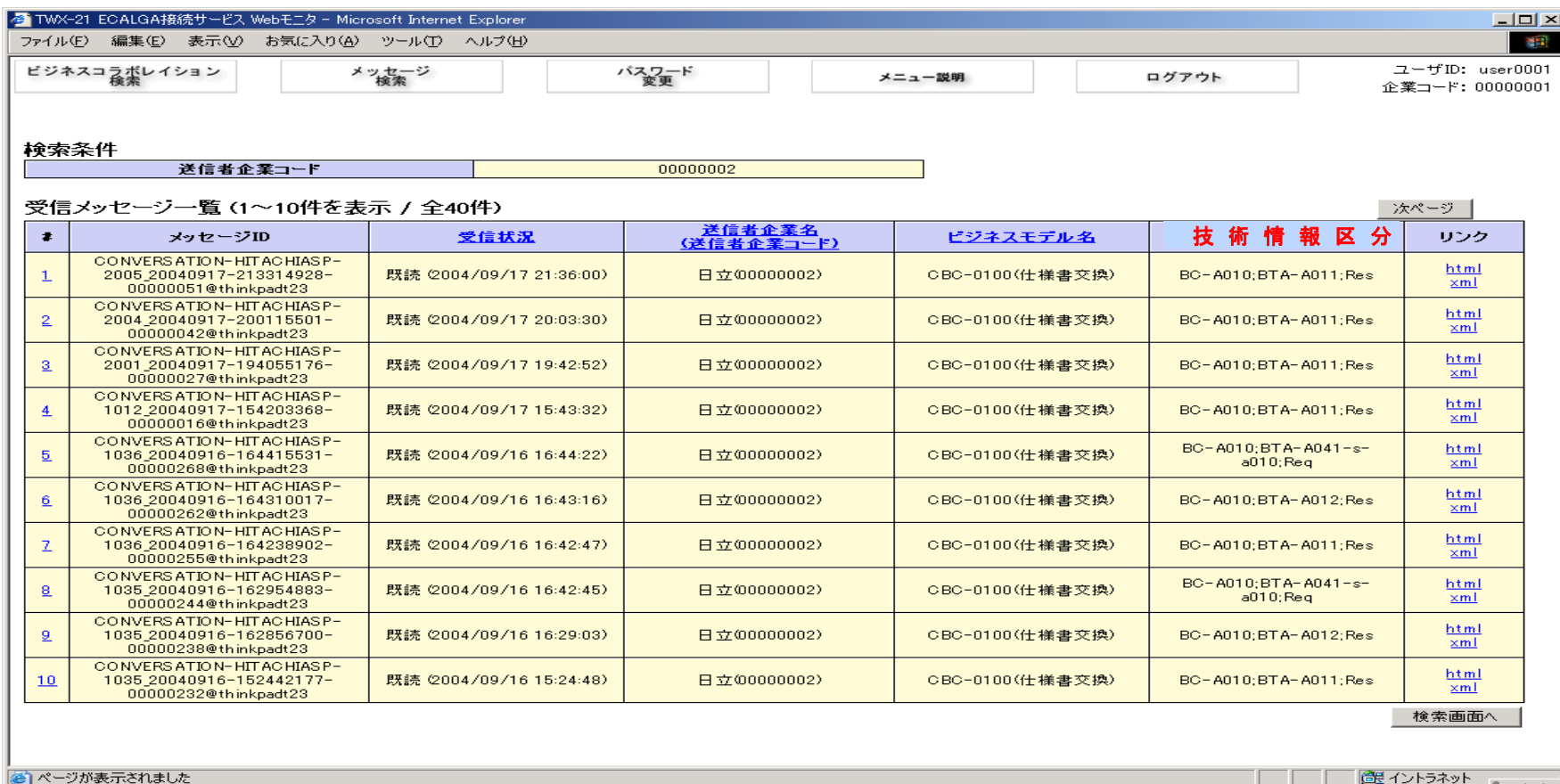
# 目次

## 4. 導入ガイドの改訂

- (1) BDの推奨ファイル名
- (2) 受注者品番の特定方法
- (3) BDの適用標準

# (1) BDの推奨ファイル名 1

BDヘッダーのビジネスアクションIDに交換する技術情報区分を設定して、ASPなどで本体明細部を参照することなく業務が把握ができる様に変更する。  
(ASPなどのサービス機能として提供して頂くように調整して行く。)



検索条件

送信者企業コード: 00000002

受信メッセージ一覧 (1~10件を表示 / 全40件)

No.	メッセージID	受信状況	送信者企業名 (送信者企業コード)	ビジネスモデル名	技術情報区分	リンク
1	CONVERSATION-HITACHIASP-2005_20040917-213314928-00000051@thinkpadt23	既読 (2004/09/17 21:36:00)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A011;Res	<a href="#">html xml</a>
2	CONVERSATION-HITACHIASP-2004_20040917-200115501-00000042@thinkpadt23	既読 (2004/09/17 20:03:30)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A011;Res	<a href="#">html xml</a>
3	CONVERSATION-HITACHIASP-2001_20040917-194055176-00000027@thinkpadt23	既読 (2004/09/17 19:42:52)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A011;Res	<a href="#">html xml</a>
4	CONVERSATION-HITACHIASP-1012_20040917-154203368-00000016@thinkpadt23	既読 (2004/09/17 15:43:32)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A011;Res	<a href="#">html xml</a>
5	CONVERSATION-HITACHIASP-1036_20040916-164415531-00000268@thinkpadt23	既読 (2004/09/16 16:44:22)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A041-s-a010;Req	<a href="#">html xml</a>
6	CONVERSATION-HITACHIASP-1036_20040916-164310017-00000262@thinkpadt23	既読 (2004/09/16 16:43:16)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A012;Res	<a href="#">html xml</a>
7	CONVERSATION-HITACHIASP-1036_20040916-164238902-00000255@thinkpadt23	既読 (2004/09/16 16:42:47)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A011;Res	<a href="#">html xml</a>
8	CONVERSATION-HITACHIASP-1035_20040916-162954883-00000244@thinkpadt23	既読 (2004/09/16 16:42:45)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A041-s-a010;Req	<a href="#">html xml</a>
9	CONVERSATION-HITACHIASP-1035_20040916-162856700-00000238@thinkpadt23	既読 (2004/09/16 16:29:03)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A012;Res	<a href="#">html xml</a>
10	CONVERSATION-HITACHIASP-1035_20040916-152442177-00000232@thinkpadt23	既読 (2004/09/16 15:24:48)	日立(00000002)	CBC-0100(仕様書交換)	BC-A010;BTA-A011;Res	<a href="#">html xml</a>

検索画面へ

# (1) BDの推奨ファイル名 2

BDのファイル名を企業情報や技術情報区分で組み立てることで、ファイル名で相手企業やビジネスアクションが一見で分るよう、以下のような命名規約を推奨する。

依頼・通知	技術情報区分	送信側企業コード	受信側企業コード	連番
BD0830	01	111111	999999	001-01
BD0830_01_111111_999999_001-01				

回答	技術情報区分	送信側企業コード	受信側企業コード	連番
BD0840	01	999999	111111	001-02
BD0840_01_999999_111111_001-02				

# (1) BDの推奨ファイル名 3

## 受信フォルダーに格納されたビジネスドキュメントファイル

### 実証実験時の受信フォルダーの内容

 20130318162212976_103010JEITA8-101010JEITA9-0830.xml	
 20130318162215768_103010JEITA8-101010JEITA9-0840.xml	
 20130318162218374_102280JEITA8-101010JEITA9-0830.xml	
 20130318162221338_102280JEITA8-101010JEITA9-0840.xml	
 20130318162226969_103010JEITA8-101010JEITA9-	 BD0830_01_111111_999999_001-01.xml
 20130318162230807_20130311-003-BD0830.xml	 BD0830_02_999999_111111_002-01.xml
 20130318162233147_20130312-003-BD0830.xml	 BD0830_06_111111_999999_003-01.xml
 20130318162235565_107210JEITA8-101010JEITA9-	 BD0830_06_111111_999999_003-03.xml
 20130318162241556_107210JEITA8-101010JEITA9-	 BD0840_01_999999_111111_001-02.xml
 20130318162244067_BD0830-シナリオ2-1.xml	 BD0840_02_111111_999999_002-02.xml
	 BD0840_06_999999_111111_003-02.xml
	 BD0840_06_999999_111111_003-04.xml

命名規約に準じたファイル名で送信された受信フォルダーの内容

## (2) 受注者品番の特定方法

発注者品番から受注者品番を判別する方法として、ECALS作成支援ツールで作成されるテンプレートに受注者品番を特定する為に必要な項目（黄色マーカー一部）を指定することで、受注者は自社品番を判別する。

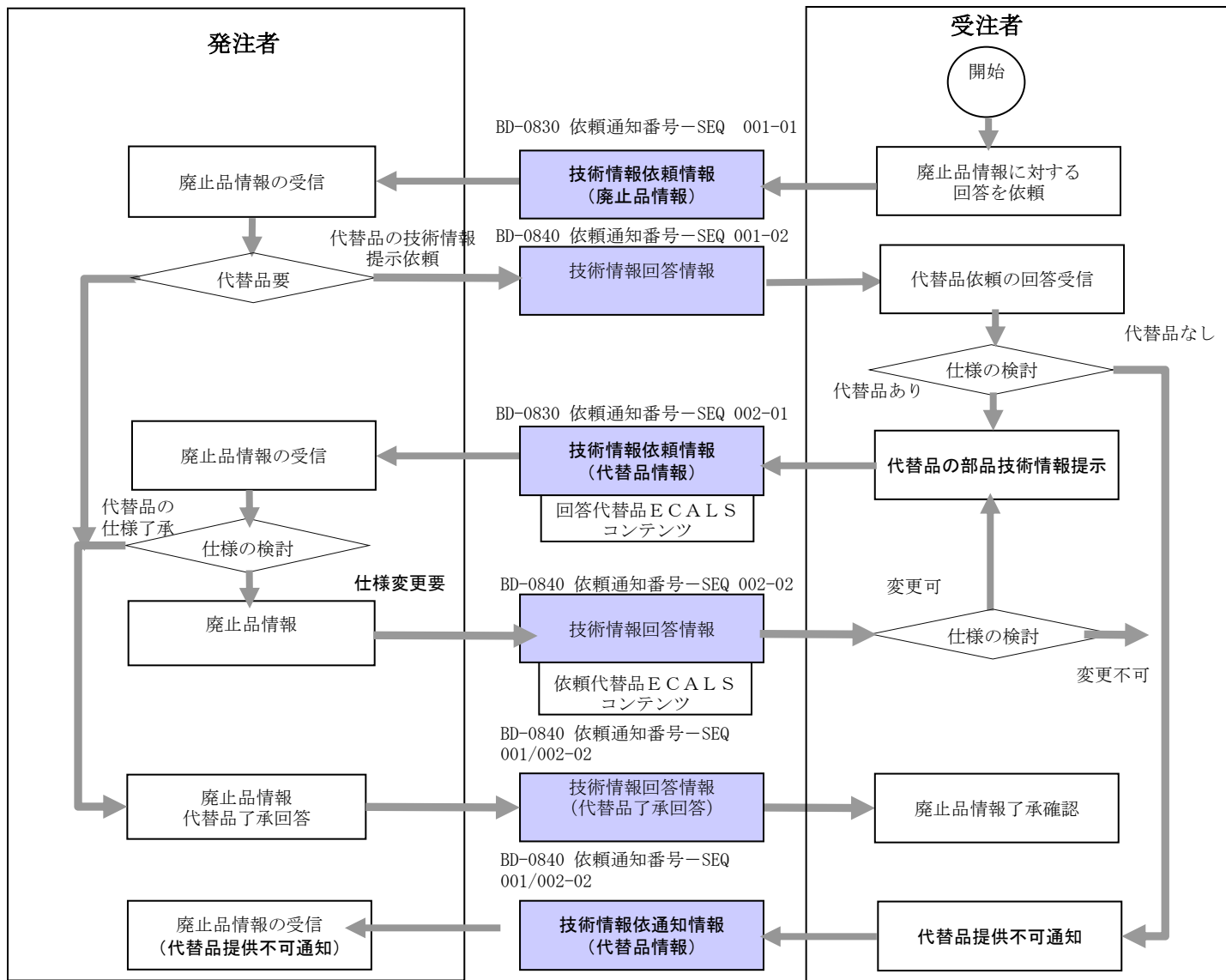
（例：固定磁気コンデンサ 種類2）

Root	L2	L3	L4	L5		辞書Ver.	短縮名称	部品分類コード	製品分類名称
XJA001	XJA035	XJA036	XJA037	XJA745			プロパティコード/ 単位	XJE005	XJE007
言語(ja)	コンデンサ	固定コンデンサ	固定磁器コンデンサ	固定磁器コンデンサ 種類2		13.1	データタイプ /Prefix	String	String

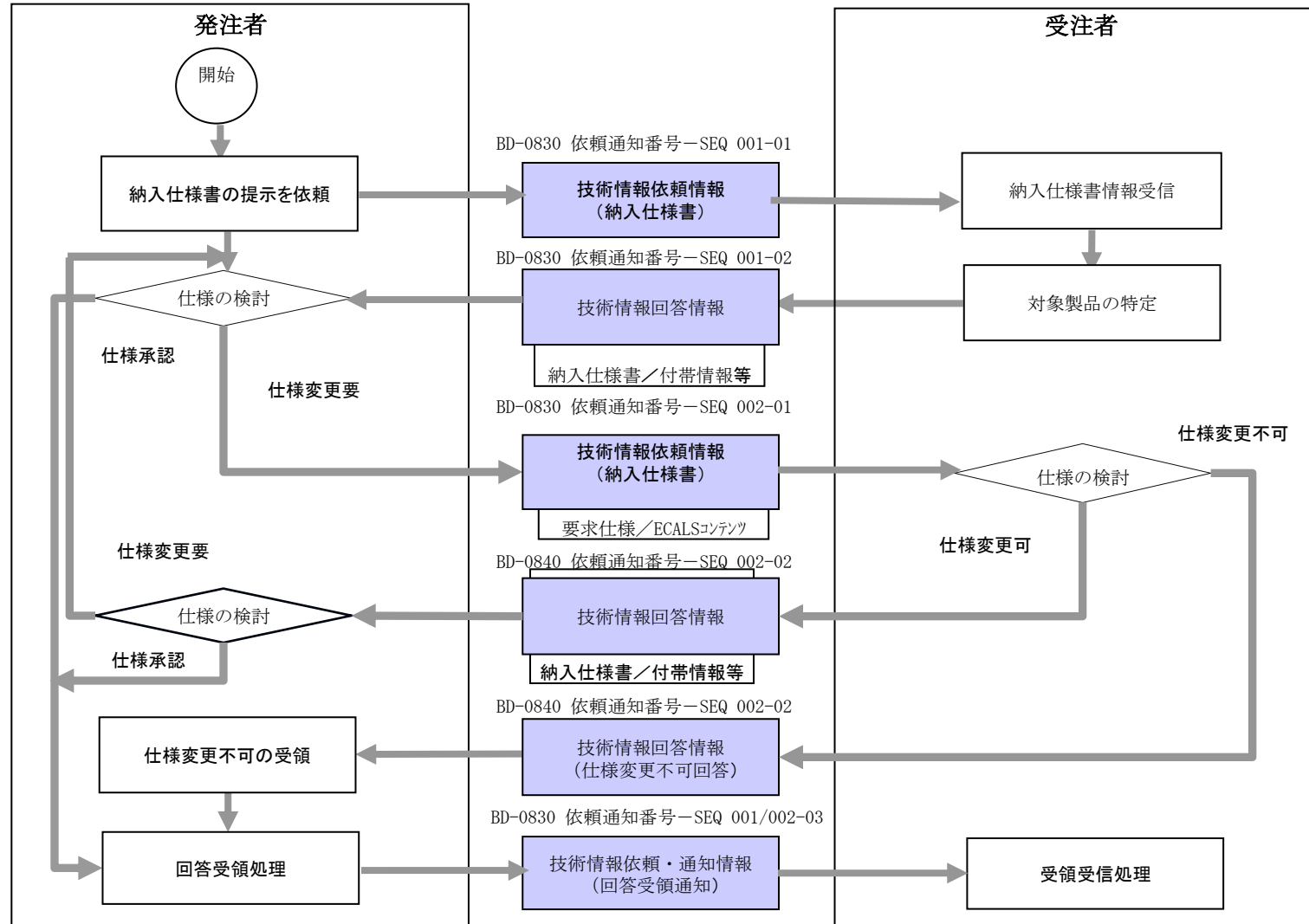
品番(メーカー形式)	定格電圧 [Max]		定格電圧の区分	カテゴリ温度範囲 [Min]		カテゴリ温度範囲 [Max]		定格静電容量 [Nom]	
XJE010	XJG930_Max	V	XJG931	XJE250_Min	Cel	XJE250_Max	Cel	XJE260_Nom	F
String	RealM	Prefix	ENUM	RealM	Prefix	RealM	Prefix	RealM	Prefix

定格静電容量許容差(%) [Min]		定格静電容量許容差(%) [Max]		サイズコード	静電容量温度特性 [Min]		静電容量温度特性 [Max]	
XJE261_Min	%	XJE261_Max	%	XJG920	XJE251_Min	%	XJE251_Max	%
RealM	Prefix	RealM	Prefix	String	RealM	Prefix	RealM	Prefix

# (3) BDの適用標準(廃止品情報の交換例)



# (3) BDの適用標準(納入仕様書の交換例)



# — 目 次 —

## 4. ECM委員会の今後の活動

4-1. 普及拡大に向けた活動

4-2. 今後のスケジュール



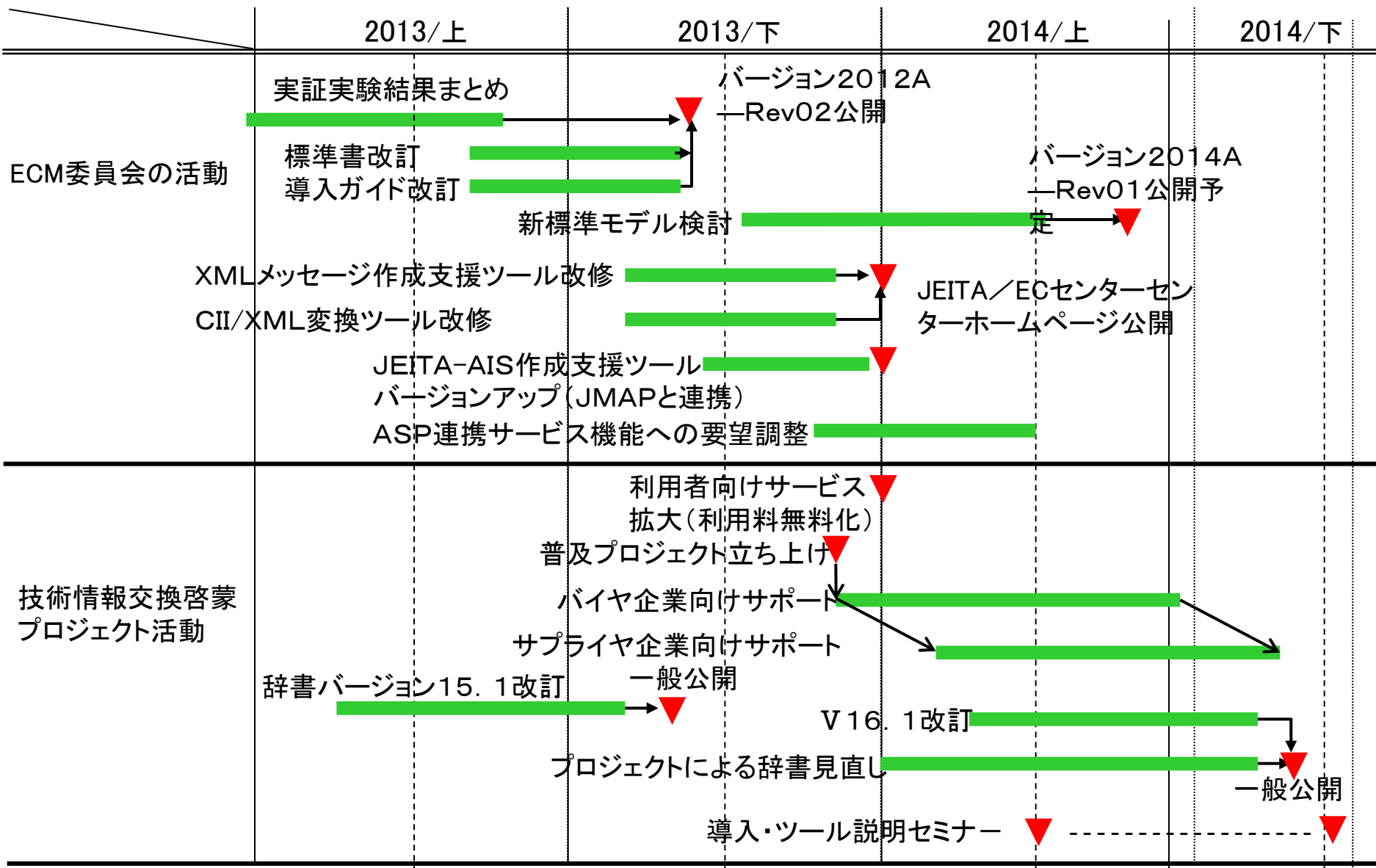
# 4-1. 普及拡大に向けた活動(技術情報交換)

課題	活動指針
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 技術情報交換等の流通手段と交換情報(ECALS、環境情報、仕様書情報)が公知でない               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 商社や代理店の営業に知られていない</li> <li>— 海外で対応できない</li> <li>— 利用企業で教育に負荷がかかる</li> </ul> </li> <li>■ EOL情報や代替品情報がほしい               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 提案時に部品情報を提供してほしい</li> <li>— ECALSにEOL情報が入っていない</li> </ul> </li> <li>■ 公開サーバーに直接検索する機会は少なく、社内データベースにデータを構築したい</li> <li>■ 部品技術情報の交換が紙ベースが多い               <ul style="list-style-type: none"> <li>— 費用・手間がかかる</li> <li>— 保管が容易でない</li> <li>— データ取込みができない</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ BtoB交換の導入検討企業とECM委員会との協業による普及を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各ツールのダウンロード企業への働きかけ(個別企業からの状況調査・課題や意見収集など)</li> <li>◆ 導入検討企業へ導入に向けたEDI構築のサポート</li> <li>◆ 受注側企業への導入サポート</li> <li>◆ 各種ツールの導入や操作方法の説明会等の実施</li> </ul> </li> <li>■ BtoBで随時に更新情報や新製品情報をタイムリーに提供できる交換インフラの確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ サービス提供プロバイダーとタイアップし、廉価で簡便なASP連携機能のサービス環境を調整し確立する。</li> <li>◆ ASP連携機能の参加プロバイダの拡大</li> <li>◆ 技術情報交換標準の改善</li> <li>◆ 交換する技術情報種類の拡大</li> <li>◆ 標準やガイドの見直し</li> <li>◆ 各ツールの機能改善</li> </ul> </li> <li>■ ペーパーレスに向けた改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 電子署名・暗号化等のセキュリティ機能の検討</li> </ul> </li> </ul>

# 4-1. 普及拡大に向けた活動(ECALS)

課題	活動指針
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 品種分類や階層に課題<ul style="list-style-type: none"><li>－部品名称のユニーク性</li><li>－分類や定格が的確でない場合がある</li></ul></li><li>■ プロパティ属性に課題<ul style="list-style-type: none"><li>－STRING(文字)属性が多い</li><li>－必要なプロパティが入っていない</li></ul></li><li>■ 自社のDBに部品技術情報を自動取込みしたい<ul style="list-style-type: none"><li>－カスタム品</li><li>－新製品</li><li>－EOL情報</li></ul></li><li>■ 公開サーバーに直接検索する機会が少なく、社内データベースで運用を目指している</li><li>■ 公開コンテンツに課題がある、数や種類が少ない<ul style="list-style-type: none"><li>－最新の部品情報がない</li><li>－情報にヌケやミスがある</li><li>－提供や継続が保証されていない</li></ul></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 企業の要求に対応した辞書等の見直し<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 品種分類の見直し</li><li>◆ プロパティ項目の見直し</li><li>◆ カスタム品への対応</li><li>◆ 簡易辞書との検討</li></ul></li><li>■ ECALSコンテンツの充実と品質の向上<ul style="list-style-type: none"><li>◆ ECALSコンテンツの品質チェックとコンテンツ改善</li><li>◆ ECALSデータ作成支援ツール機能見直し</li><li>◆ ECALSコンテンツ提供企業への働きかけ</li></ul></li><li>■ BtoBで随時に更新情報や新製品情報をタイムリーに提供できる交換インフラの確立。<ul style="list-style-type: none"><li>◆ サービスベンダーへのASP連携サービス提供を働きかけ</li><li>◆ 各種ツールの機能改善</li></ul></li><li>■ 技術情報交換標準の改善<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 簡便な交換に向けた、標準やガイドの見直し</li><li>◆ 交換する技術情報の種類の拡大</li></ul></li></ul>

# 4-2. 今後のスケジュール



**ECAALGA**